

「遊びの教材化」から考える保健体育科教育の試行的実践

—生涯スポーツの実現に向けて—

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 造形・創造科学系（保健体育）

氏名（穴井 聡）

中学校保健体育科においては、目標に「～生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する～」と明記され「生涯スポーツの実現」が求められている。生涯スポーツとは、レクリエーションを目的として「誰もが・いつでも・どこでも」気軽に参加できるスポーツである。そこで、子どもたちが皆夢中になって行っている遊びに着目し「本質・特徴・分類」から遊びを整理して「遊びの教材化」の具体的な授業実践を行った。教材として「球技【ゴール型】フロアサッカー」を設定し、授業観察や振り返りシートでのコメントなどを通して、子どもの姿を分析した。その結果、動きの真似をすることでゴール型特有の技能を獲得するといった成果が見られた。その他、コメントなどから授業内で生涯スポーツが実現されていたと言える子どもの姿があった。子どもたちが授業内でこうした経験をすることで、今後の生活においてあらゆる場面での生涯スポーツの実現が期待される。